

卓球・サウンドテーブルテニスの部 実施要領(予定)

1. 競技規則

実施年度の「全国障害者スポーツ大会競技規則」および本大会実施要項により行う。

2. 競技方法

(1) 一般卓球

- 各ブロックのリーグ戦もしくはトーナメント戦で行う。ただし、同じ障害区分で複数のブロックがある場合は、順位決定のリーグ戦もしくはトーナメント戦を行う。なお、決勝リーグ戦で、競技者が2名となった場合は、同じ対戦を2試合行い、その2試合の対戦結果で順位を決定する。
- 障害区分によって出場者が少ない場合は、「オープン戦」として他の障害区分の者と競技を行う。なお、オープン戦も全国障害者スポーツ大会の選考対象とする場合がある。
- 1マッチは5ゲーム(1ゲームは11点)とし、3ゲームを先取した競技者を勝ちとする。
- 使用球は、VICTAS、Nittaku、Butterflyの40mm⁺ホワイトの公式球とする。

(2) サウンドテーブルテニス(STT)

- リーグ戦で行う。
- 1マッチは5ゲーム(1ゲームは11点)とし、3ゲームを先取した競技者を勝ちとする。
- 使用球はNittaku 40mm⁺オレンジの公式球とする。
- アイマスクもしくはアイシェードを持参・着用し、競技すること。

(3) リーグ戦の順位決定および、同じ障害区分の複数ブロック間の順位決定は、①勝点、②獲得ゲーム数、③獲得得点の順で決定する。

(4) 各試合では、アドバイザーコーチ1名のみアドバイザーコーチエリアに入ることができる。

アドバイザーコーチエリア外から選手へのコーチングは認めない。

(5) 競技時間を早めるための促進ルールは適用しない。

3. 注意事項

(1) 閉会式は行わない。

(2) 競技中の服装は、白色以外のものを着用すること。

(3) 選手は、試合開始時間10分前までに招集エリアで待機すること。試合開始時間にコートにいない選手は、棄権したものとみなすことがある。

(4) 競技は終了したコートから順に進める。そのため、試合開始時刻は進行状況により前後する可能性がある。各選手は、自身の試合の進行状況を確認し、会場アナウンスに注意すること。

(5) 競技者は、自分の名字が記入されたゼッケンを背部に着用すること。

(6) 競技を観戦する者は競技進行の妨げにならないように、2階観覧席で観戦すること。

(7) 大会中のけがや病気については、応急手当を除いて主催者は一切責任を負わないので、健康と安全には各自が十分に注意すること。なお、主催者において、行事保険に加入している。

(8) 荷物は各自で管理すること。特に盗難には注意すること(更衣室に荷物を放置しないこと)。

(9) 競技場内では、決められた場所以外には立ち入らないこと。喫煙は決められた場所で行うこと。